

星をみせし...

2011. Autumn Vol.23



アイソン彗星

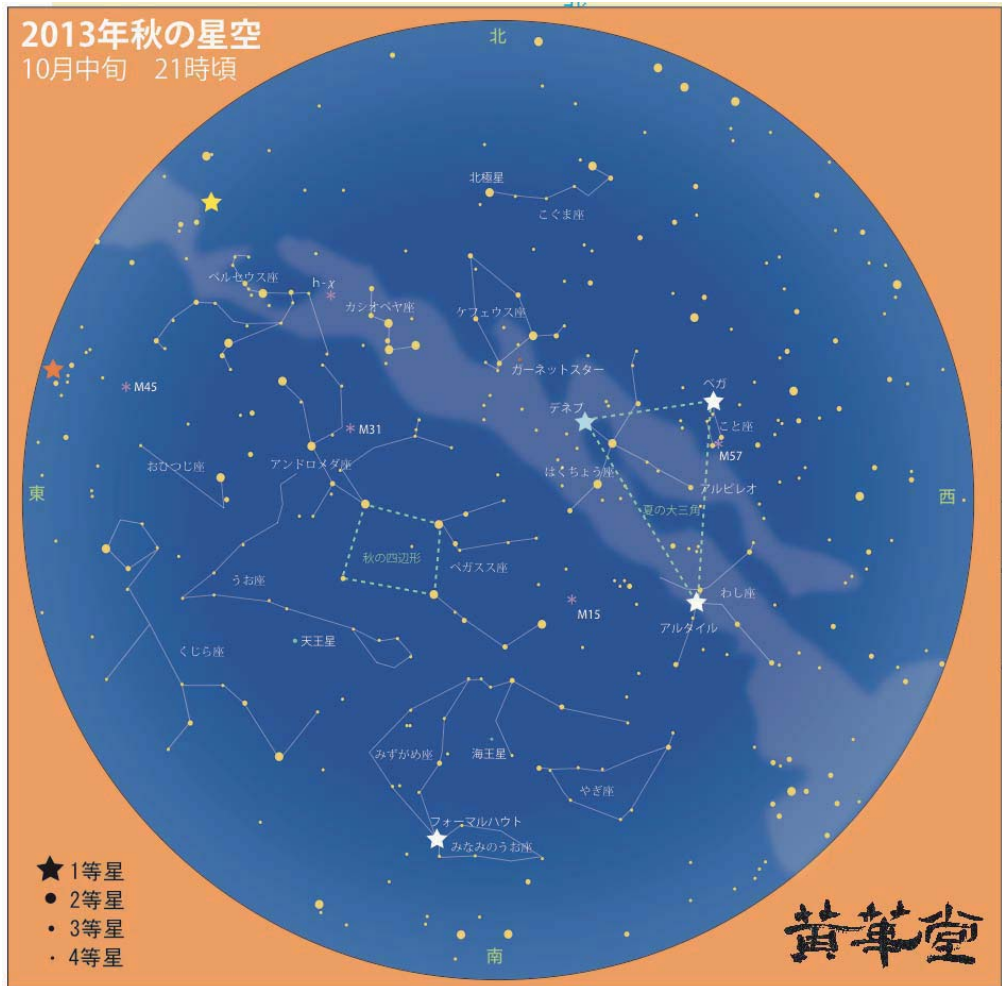
今年の秋から来年の初めにかけて、「アイソン彗星」が地球に近づきます。

彗星というのは、遠い宇宙の彼方から（と言っても太陽系の中ですが）やってくる氷や砂が混ざった小天体（よく“汚れた雪だるま”と例えられます）で、太陽に近づき、その熱や風にあぶられて融け出し、宇宙空間に長い尾をなびかせるものです。

しかし、どれほど見事な尾が見られるかは、実際に太陽に近づいてみないとわかりません。

肉眼でもはっきりと見られるような「大彗星」になることを願いつつ、秋の夜長を過ごしましょう。

見上げてごらん 「秋の星空と星座」



夏の大きな三角が西に傾き夏の名残を残しつつも、カシオペアやアンドロメダなど、エチオピア王家の星座たちでにぎわい始める秋の星空です。頭の上には大きなペガサス。空が暗いところならアンドロメダ銀河（M31）も肉眼で見られます。夜半～明け方にかけてはすばるやオリオンが昇り、季節の移ろいが感じられます。

さて、秋といえばお月見。今年は9月19日が中秋の名月です。10月17日の十三夜（後の月、栗名月）と合わせてお楽しみください。

☆秋の大三角？

秋の夜空で、頭上に目立つのが秋の四辺形（ペガサスの四辺形）です。春・夏・冬には同じように「大三角」がありますね。他の季節とは違って、秋だけは四角形なのです。それでは、秋の空には三角形はないのでしょうか？実は正式に「秋の大三角」と呼ばれる星の並びはありません。

しかし、南の空を見てみましょう。秋では唯一の一等星、フォーマルハウト（1.2等、みなみのうお座）がすぐにわかります。そこから少し東の方に目を移すと、くじら座のベータ星、デネブ・カイトス（2.0等）があります。この2つの星と三角形を作る星がフォーマルハウトの南東に見えるでしょうか？この星はほうおう座のザウラク（2.4等、アンカとも呼ばれる）です。他に明るい星が少ないので意外と目立ちます。南の低い空のあるほうおう座を見つけると、この三角形が用いられることがあります。皆さんもぜひ秋の夜空に三角形を探してみてください。

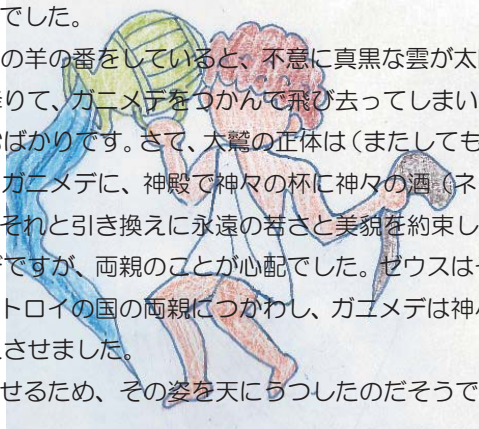


400文字のギリシャ神話 「みずがめ座」～驚にさらわれた美少年ガニメデ～

水瓶を持っているのは、トロイという国の美少年ガニメデで、その美しさは体が黄金に輝いていたといわれるほどでした。

ある日、小山の上で父の羊の番をしていると、不意に真黒な雲が太陽をかくし、大きな黒鷲が雷鳴とともに舞い降りて、ガニメデをつかんで飛び去ってしまいました。ガニメデの両親は突然のことに悲しむばかりです。さて、大鷲の正体は（またしても）大神ゼウスでした。ゼウスは、さらってきたガニメデに、神殿で神々の杯に神々の酒（ネクテル）を注ぐ役を務めてくれるように頼み、それと引き換えに永遠の若さと美貌を約束しました。頼みを引き受けることにしたガニメデですが、両親のことが心配でした。ゼウスはその心配を和らげるよう、伝令の神ヘルメスをトロイの国の両親につかわし、ガニメデは神々の国で幸せに暮らしているということを伝えさせました。

そして、両親を安心させるため、その姿を天にうつしたのだそうです。

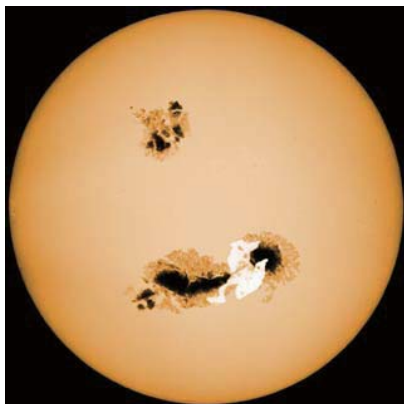


楽しい天文学入門 『太陽では起きるの？スーパーフレア』

太陽では時々「フレア」という爆発現象が起きます。フレアは黒点部分で発生し、加速・加熱されたプラズマを噴出します。巨大なフレアは、地球の磁気圏にも影響を及ぼし、人工衛星の故障や通信障害をもたらします。例えば 1989 年の大フレアが起きたときにはカナダで 600 万人が 9 時間の停電に遭遇しました。

太陽と似た星(表面温度 5600~6000 K)でもフレアは起きています。中でも、最大級の太陽フレアの 100~1000 倍もある大規模な爆発

(10^{41} J 以上のエネルギーになる)を「スーパーフレア」と呼んでいます。最近、ケプラー衛星の大量のデータを使って多くのスーパーフレアと星の性質の関連性を調べたところ、スーパーフレアは自転速度の高い星や大きな黒点がある星で頻繁に発生することが判明しました。また、太陽類似星でスーパーフレアが起きる確率は 5000 年に 1 回程度ということが分かってきています。5000 年と聞くと長いように感じますが、太陽の年齢を考えると短く、油断はできないかもしれませんね。



図：太陽型星のスーパーフレアの想像図。

大きな黒点で起きていると考えられています。

(森谷 友由希)

参考サイト (京都大学) :

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news_data/h/h1/news6/2012/120517_1.htm

黄華堂からのお知らせ 「今後の活動予定」

黄華堂が運営しています「星のソムリエ」講座ですが、今年度も残すところあと 2 回となりました。2015 年度の募集は“星のソムリエ京都”の Web ページでお知らせします。

今後のイベントですが、11 月 30 日 (土) に京都・宇多野ユースホステルで観望会を実施します。また、12 月 15 日 (日) には京都・嵐山を走る嵐電で貸切電車を走らせて、宇宙に関するイベントを実施します。詳細は黄華堂の Web にてお知らせします。

“子どもたちに本物の星空を！”をテーマに活動している星空ボランティアグループ

Mail : info@oukado.org Web : <http://www.oukado.org/>

Facebook でも情報発信中！ぜひ「いいね！」して下さい！

・・・あなたも黄華堂に参加しませんか？メールでご連絡ください

黄華堂

